

## ||||| 発刊にあたって |||||

昨年の今頃、昭和45年版が刊行されましたが、それから、もう1年がたとうとしています。

今年も、さまざまなことがありました。中でも特筆すべきことは、仮称市民体育館の建設が始められたことでしょう。

一昨年完成した福社会館社会教育施設と同施設内の図書室が、軌道にのりはじめたこととあわせて、本市の文化の進展の上で画期的な意味を持っていると考えてよいと思います。

一般的に、東京都内は、これらの施設面で地方より非常におくれていることが指摘されてきました。そして、それは、ちょうど、学校がないところで学校教育が行なわれていることと同じようなものと考えられています。福生という地域がもつイメージは、そこに住む人々によって規定され、とりわけ健康や文化といったもので総称されるものに規定されると思われます。

この意味で、今後に残される多くの課題があるとはいえ、今、はじまったばかりの新らしい芽が順調に成長し、市民1人1人との係わりの中で生き生きと脈うつようになることを願ってやみません。市民1人1人の向上という社会教育の目的は、当然に、市民相互の学習の総和としての市のありよう＝市風になり、それが、また、市民1人1人に環元されていくことでしょう。

人間の生涯に渉る学習などという大きなことでなく、私達の毎日の生活の中に、健康や文化を位置づけていくための努力と市民の皆様のご協力を切にお願いいたします。

福生市教育委員会教育長

町 田 倍 二